

委員会

特別委員会

鮎貝まちづくり事業調査

11月30日に委員会を開催し、白鷹町文化交流センターの指定管理者に関する説明を受けました。選定委員会は、文化交流センターの目的である「町民自らが担い手となり、創造的かつ多様な芸術文化活動を促進し、賑わいの創出や地域間交流をはかる拠点」としての管理運営に、「あゆーむ運営管理共同企業体」（米沢市）を選定したとの報告がありました。伝国の杜を管

理する(株)シグマと東北警備保障(株)の共同体ですが、経験と目的に沿った運営ができるとして5社の中から選ばれました。議員からは、これまでの関係・協力者に配慮した運営を望むとして、文書による確認をしておくべきとの意見が出されました。

保育所民営化の方向性示す

町内保育所の民営化の方向性が示され、①あらと保育園は現在の民設民営で委託していく②よつば保育園は現在の公設民営形態を続行し指定管理者の更新時に総括する③ひがしね保育園は障がい児保育を担っており当面は公設公営で運営するが将来的には民営化を検討する④こぐわ・あゆかい保育園は統合して民設民営で委託する。

統合保育園は白鷹町社会福祉協議会に委託して四季の郷の福祉用地に25年10月完成予定で新設する。また、子育て支援センターや学童保育などの併設について検討し、子育て支援の拠点施設としての整備を目指す。などの説明がありました。

大規模養豚場悪臭問題

12月3日に委員会が開催され、事業所周辺の現地調査を行ったあとに、悪臭の現状について当局より説明がありました。今年度の取組状況としては、5月に簡易臭気測定器の現地説明会を行い、その後24時間や68時間の測定を含む9回の測定を実施したが、複合臭であることや猛暑の影響もあったことなどからデータとして表すことはできていない、悪臭防止法基準を超える数値が出た状況が1回あった、悪臭に対する苦情件数

が20件あった、などの報告がありました。また、事業者側との打合せも数回行われ、事業者側も地域の方との話し合いや意見交換したいなど、前向きに検討しているとのことでした。今後の取組については、事業者と臭気発生時における作業工程の再確認と対策、臭気低減のための施設整備などの検討を行っていくとのことでした。委員会では、次回委員会に事業者を招致して話し合いを持つことと決定しました。

県立高校再編にキャンパス制の導入

県教育委員会より、平成25年度からの西置賜地区高校再編について、長井工業高校と荒砥高校間でのキャンパス制を導入する方向が示されました。長井工業は1学科減らして3学科にし、荒砥高校は総合学科2クラスとする内容です。キャンパス制とは1学年1〜3学級の高校が、将来の統合を視野に、近隣の高校と連携・交流すること

により、適正規模の高校に準じた教育環境を確保する制度で、教員がたがいに出席授業を行ったり、部活動で合同チームを組むなどの交流が考えられます。荒砥高校の場合は、校名・校舎・校長配置は今のままです。